

小鳥の森で観察してみよう 6

## ジョウビタキ

分類：ヒタキ科

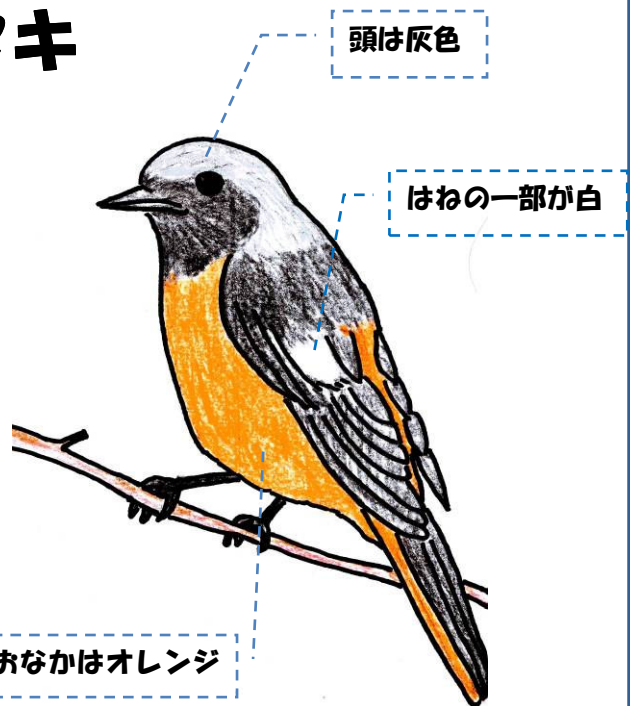
大きさ：体長 15cm 翼を広げると 22cm

生態：冬になるとわたって来る渡り鳥（冬鳥）  
日本にわたってくるとなわばりを作り、  
単独で生活します。

小鳥の森での観察：

小鳥の森では観察広場などで、目撃することが出来ます。

『ヒッヒッヒ』と高い声で鳴き、ちょっとさびた扉のような音が聞こえたら周りを探すと出会えるかもしれません。



今回のイラストはいがらしレンジャーが描きました。

## 10月の自然

中旬頃から「ヒーヨ・ヒーヨ」と賑やかな鳴き声が頻繁に聞こえました。

これは、ヒヨドリの群れが渡りの途中で立ち寄っていたようです。

また、ネイチャーセンター前では毎日のようにエナガの群れが立ち寄りかわいらしい姿を観察することができました。

## 給餌台オープン

10月下旬から給餌台を設置します。  
ネイチャーセンターの中から、ヤマガラやシジュウカラ、シメ、カワラヒワ等の姿を観察することができます。  
野鳥観察にぜひお越しください。

レンジャーだより(高橋レンジャーより)  
**秋を感じ冬鳥を待つ**



モズの高鳴きが聞こえる季節になりました。  
この時期になると、小鳥の森では、ヤマガラ・シジュウカラ・エナガ等の混群が見られます。  
ヤマガラは冬に備えエゴノキの実を懸命に隠し、エナガやシジュウカラは昆虫の幼虫（青虫類）を探して木から木へと忙しく移動していきます。

11月に入ると北からジョウビタキ、カシラダカ、ミヤマホオジロ、アトリ、ベニマシコ、シロハラ、シメなどの冬鳥が、高い山からはヒガラ、クイタダキ、ピンズイ、ルリビタキ、アカゲラなどの漂鳥（ひょうちょう）がやってきて、小鳥の森は賑やかになるのです。

これからの季節は、樹木の葉っぱも落ち、色々な野鳥が訪れているので観察するには最適です。  
窓越しに見られる野鳥を観察してみませんか。

## お山の大将あつまれ報告！

10月16日（日）に『お山の大将あつまれ』を開催しました。今月は会場を福島市水林自然林へと移し、みんなで芋煮会です。イベントの丸太切りでは頑張ってノコギリをひき、切れた瞬間の達成感に満ちた笑顔がたくさん見られました。

現在『お山の大将あつまれ』は室内での活動と野外活動を組み合わせて実施しています。また、野外での活動は30分以内です。今年は途中からの参加も可能（例年は年間で募集）ですので、興味のある方は“福島市小鳥の森”までお問い合わせください。

次回は11月13日（日）に開催する予定です。



## 『身近な野鳥ティーチーズガイド講習会 in 福島県』を開催します

みなさんは、普段どんな野鳥を目にしていますか。スズメやカラスなどは普段生活していると見かける機会も多いのでないでしょうか。

そのような身近に観察できる野鳥から環境問題を考えてみませんか。今回の講習会は日本野鳥の会が主催となり福島県の復興支援の目的で開催されます。

身近な野鳥を通して実践できるプログラムを集めたテキストを活用しながらの講習会なので、野鳥を詳しく知らない方でも安心して受講することができますし、室内でもできるプログラムも数多く用意されているので、学校の授業等でも使用することができるのではないのでしょうか。

お申し込み・お問い合わせは福島市小鳥の森までご連絡ください。

日時：平成23年11月23日（祝）10:00~16:00

会場：フォレストパークあだたら レクチャーホール

費用：2000円（テキスト代込）

定員：40名（定員になり次第締め切ります）

講師：萩原 洋平（日本野鳥の会 東京港野鳥公園担当レンジャー）

箱田 敦只（日本野鳥の会 人材育成プロジェクト）



**\* 福島市小鳥の森では色々なイベントを開催しています。**

**詳しく知りたい方は福島市小鳥の森のホームページをご覧ください。**

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時  
《入場無料》 休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口字宮脇 98 Tel: 024-531-8411 fax: 024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.wbsi.org/sanctuary/fukusima/>

小鳥の森通信[しじゅうから] 2011年11月No.317/企画・発行：福島市小鳥の森/（公財）日本野鳥の会・サンクチュアリ室